

世界で活躍する指導者たち

世界を舞台に活躍する指導者から、学べる環境。

国際大会で代表チームの監督やコーチ、審判員を務めた指導者が多数教員として大阪体育大学に在籍。国際舞台で得た経験の蓄積は、クラブ活動ではもちろんのこと、普段の授業でも学生たちに伝えられています。世界を舞台に活躍した教員と接し、講義を受けることで、きっとたくさんの学びがあるはずです。



ハンドボール女子 2023世界選手権日本代表監督

楠本 繁生 教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科 体育科教育コース

ハンドボール部女子監督。本学学生時代にインカレ優勝。京都・洛北高校でインターハイ7回優勝。2010年本学教員となり、全日本インカレは2024年、11大会連続12回目の優勝。2021年秋から女子日本代表「おりひめJAPAN」監督を兼任し、日本代表の大半が教え子。2023年、アジア競技大会で金メダル、世界選手権に出場した。

剣道世界選手権 女子元監督



神崎 浩 学長

スポーツ科学部

スポーツ科学科
体育科教育コース

剣道部男女顧問。選手として全日本学生優勝大会、全日本都道府県対抗優勝大会などで優勝。本学監督として全日本学生優勝大会で優勝2回、全日本学生選手権大会で優勝1回。2009年世界選手権は団体と個人を制した。

テニス男子 2023ユニバーシティゲームズ日本代表監督



宮地 弘太郎 教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

テニス部男子監督。選手としてインカレ・シングルス優勝2回。1995～1999年まで日本代表（デビスカップ）としてプレー。ユニバーシティゲームズ（旧ユニバーシアード）は2005年（トルコ）から男子監督などを務め、2023年（成都）は、男子監督として団体、ダブルス、混合ダブルスで銅メダル。

国際柔道連盟 インターナショナル審判員



松田 基子 教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
アスレティックトレーニングコース

柔道部女子監督。選手として全日本女子選手権などに出場。2001年福岡国際女子柔道選手権で初めて国際大会の審判員を務める。以後、2005年に国際柔道連盟インターナショナル審判員資格を取得し、世界柔道団体選手権、アジア選手権、ヨーロッパオープンなど多数の国際大会に参加。2017年には全日本柔道選手権で女性初の審判員を務め、同年、スポーツ庁長官奨励を受けた。

柔道女子 元日本代表コーチ



生田 秀和 准教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

柔道部男子監督。筑波大学、ALSOKで選手、コーチを務め、2013年から全日本柔道連盟ジュニア強化コーチに。その後シニアも兼務し、アジア大会など国際大会で指導。男子を指導してきたが、2021～2024年、柔道女子日本代表コーチを務めた。

バスケットボール男子 元U22日本代表ヘッドコーチ



比嘉 靖 准教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

バスケットボール部男子監督。本学卒業後、松下電器のポイントガードとして日本リーグ新人王。大阪エヴェッサコーチとしてbjリーグ3連覇。ユニバーシアードは2大会出場。2018年から2年間、U22ヘッドコーチ。

バレーボール女子 2019ユニバーシティゲームズ日本代表コーチ



長江 晃生 准教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

バレーボール部女子監督。本学卒業後はVリーグ（現SVリーグ）でプレー。2010年には日本代表としてアジア大会で優勝。2019年からはユニバーシティゲームズ（旧ユニバーシアード）女子チーム（イタリア大会3位）でコーチを務めた。

ポッチャ 元日本代表コーチ



曾根 裕二 准教授

教育学部

教育学科

アダプテッド・スポーツ部監督。長年ポッチャの指導に取り組み、2014年のアジアパラ競技大会から日本代表コーチを務めた。2022年12月、同部で指導する内田峻介選手（当時教育学部2年）が世界選手権BC4クラスで初優勝。日本選手権は3連覇を果たした。

パラ水泳 日本代表コーチ



浜上 洋平 准教授

教育学部

教育学科

水上競技部女子監督。選手として筑波大学時代、日本短水路選手権200m個人メドレー8位。帝京大学で6年間監督を務め、2019年4月、本学に赴任し、ヘッドコーチ、監督。パラ水泳日本代表コーチを務める。同部で指導する宇津木美都選手（当時教育学部3年）は2023年アジアパラ競技大会で銀メダル4個獲得。

侍ジャパン（野球日本代表） 女子コーチ



横井 光治 准教授

教育学部

教育学科

硬式野球部女子監督。2024年7～8月のWBSC女子野球W杯ファイナルステージでコーチとして、同部で指導する白石美優選手（当時体育学部4年）とともに出場し7連覇を達成。白石選手はMVP・首位打者を獲得した。同部では2021年全日本インカレで初優勝を果たした。